

○ワークショップ 「消費者行動」

開催責任者 ビジネス研究科 石垣智徳
湯本祐司

2018年3月5日

3月6日

南山大学J棟5階J51教室



ワークショップは以下のとおり、開催された。

◇研究目標

消費者行動研究の新しい研究テーマやその他関連研究に関する内容を議論する。

◇報告者および題目

3月5日(月)

1. 里村卓也（慶應義塾大学商学部）
「視線追跡による選択メカニズムの解明」

2. 佐藤栄作（千葉大学大学院社会科学研究院）
「品揃え操作とカテゴリー購買行動」
3. 加藤 諒（慶應義塾大学大学院経済学研究科後期博士課程）、星野崇宏（慶應義塾大学経済学部）
「位置情報とチラシデータを用いた消費者の商圏内購買行動の理解」

3月6日（火）

1. 森田裕之（大阪府立大学知識情報システム学類）
「BLE ビーコンを用いた屋内における巡回行動の移動軌跡推定に関する研究」
2. 辻本法子（桃山学院大学経営学部）
「大学生の SNS の利用状況調査～インスタ映えの考察～」

◇ワークショップの討論内容

本ワークショップでは広く消費者行動に関するモデル分析他に関する研究報告ならびにディスカッションを行った。例えば、佐藤氏の報告では、カテゴリー購買というキーワードによる品ぞろえ操作による売上の変化に関する報告があった。品揃えが多すぎても、少なすぎても実際の購買につながらないという過去の研究報告を基にいかなる品揃えが良いのかをモデルによる検証をする際にどのような変数が効いてくるのかという論点で進めている。

また、辻本氏の報告では、大学生に対する調査を基に「インスタ映え」とは、何なのか、SNS を利用している大学生の意図、存在意義に関するものであった。参加者からの多くの疑問について回答しながら、大学生の考える「インスタ映え」を理解するとともに、どのように企業は活用すべきなのか、意図どおりに機能するのか等の議論が行われた。

◇研究成果発表

報告者が各自、学術誌などに論文投稿や学会報告を計画している。